

令和3年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 北海道 富良野市	エントリー部門 <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・任意団体等
取組名 「官学連携プロジェクト」 高校生によるマンホール着色でまちを元気に！	
責任者 氏 名：北川 善人 所 属：建設水道部上下水道課 電 話：0167-39-2317 E-mail：suidoh-ka@city.furano.hokkaido.jp	
担当チームの構成 （外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） 実施主体 上下水道課 協 力 北海道立富良野高等学校（美術部） 北海道立富良野緑峰高校（生徒会）	
取組のポイント （一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） ・雨水や汚水のマンホールに地元高校生の自由な発想で着色し、学校周辺の環境美化を図るとともに、市民や観光客が集まる施設周辺に設置することで、まちづくりへの参画意識や下水道事業への関心を高め、将来の担い手育成に繋げる。 【3つのテーマ】 ・コロナ禍で行動範囲が狭まりモノクロ化した生活空間に、足元から色付けし元気になってもらう。 ・人口減少、少子高齢化が進む中で、サステイナブルな上下水道事業を確保するためには、高校生に上下水道事業に関心を持ってもらい、職業選択肢の候補としてもらう。 ・学校（生徒）とつながることで、互いに知恵を出し合い魅力あるまちづくりを目指す。	
アピールポイント ・高校生が自由に着色することで独自性や表現力豊かなカラーマンホールが出来上がり、1つのデザインでも多くのバージョンが楽しめる。 ・新聞社等に取材してもらうことで話題となり、また、商業施設へ来る観光客の目を楽しませることで、高校生の達成感につながっている。 ・高校との距離を縮めることで下水道事業に限らず、まちづくりへの参画意識を高めている。	
要したコスト 【マンホール着色 15 枚/年 当初予算 3 万円】 ・下地用アクリルスプレー缶 約 400 円/缶（1 缶で 3 枚程度） 5 缶で 2,000 円程度 ・油性塗料 600 円/缶（各種）、うすめ液、筆 等 = 1 校 1 万円以内で高校生に購入させる。	

ウラ面に続きます

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）
 ※令和元年12月からマンホールカードの発行を行い、多くの方に興味を持ってもらった。既存のマンホールを使って下水道事業PRができないものか。コロナ禍の影響で外出制限もあり、また、健康志向でウォーキングをしている人が増えている。足元にあるマンホールに着色すれば笑顔になるのではないか。職員が着色するのではなく、高校と連携することで学生に達成感も与えられ、まちづくりへの参加意識も高まるのではないかと。この思いからスタート。

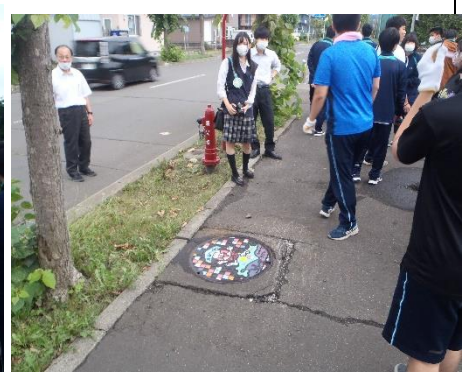
- ・令和2年6月 地元高校の校長と面談、官学連携プロジェクトとしてマンホール着色を提案
 両校とも快諾。富良野高校は美術部、緑峰高校は生徒会で有志募集し実施することとなる。
- ・富良野高校（美術部 10名） 製作期間約2カ月 マンホール5枚
- ・富良野緑峰高校（生徒会集約 約40名） 製作期間約2カ月 マンホール10枚
 両校とも学校前の歩道部（通学路）に生徒と一緒に設置。 北海道新聞の地域面に掲載される。
- ・令和3年8月 引き続き両校で着色したマンホールを「ふらのマルシェ」（中心街の観光スポット）周辺に設置。ふらのマルシェフェイスブック等で紹介される。



着色作業



運搬作業



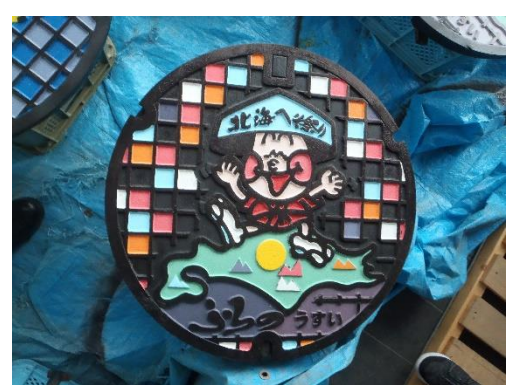
設置作業



ワインバージョン



スキーバージョン



へそ丸バージョン

成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

数値的な成果はありませんが、周辺をウォーキングする方や犬の散歩、市民ランナー、観光客などから高評価の声が届いています。マンホールに興味を持ってもらうことで、下水道事業への関心に繋げ、今後の事業実施に理解と協力をいただけるように繋げていきたい。

